

1. 事業の概要

世界規模の地球温暖化対策と新興途上国における喫緊の課題である環境汚染防止対策を同時に実施するコベネフィット・アプローチは、急速に発展しつつあるアジアの各国が温暖化対策へ参画するために有効であり、温暖化対策の国際交渉、G8環境大臣会合等においてもその重要性が強調されている。このため、我が国では具体的な取組の推進のために、これまで中国等に対し本アプローチによる協力を進めてきた。気候変動に係る次期枠組みに向け、更なるコベネフィット・アプローチの加速的な拡大を図るための連携基盤として、フォーラムの形成が必要とされている。

この具体化に向けて、アジア地域内における大学、研究機関、産業界、行政機関との連携強化を図りつつ、以下の事業に取り組む。

コベネフィット政策の推進

アジア諸国における環境保全に係るマスタープランの策定支援及びコベネフィット型事業の事案発掘調査。

コベネフィット情報発信

フォーラム構築のための準備会合及び人材育成のためのセミナー等の開催。

コベネフィット効果把握手法の在り方検討

途上国における測定・報告・検証可能(MRV)な行動を推進するためのコベネフィット・アプローチを通じた定量的な環境改善効果の把握手法の検討。

2. 事業計画

調査項目	H22	H23	H24
コベネフィット政策の推進			→
コベネフィット情報発信			→
コベネフィット効果把握手法の在り方検討		→	

3. 施策の効果

コベネフィット型プロジェクトの実施推進により、日本として温室効果ガス削減と水質汚濁、大気汚染、廃棄物の環境問題の解決に貢献すること及びそれらの新興途上国において日本の技術や人材が長期的に活用されることを目的としたコベネフィット・フォーラムを構築する。

コベネフィット・アプローチによるアジア諸国への国際貢献

～アジア・コベネフィット・フォーラム構想～

環境汚染(公害)問題を喫緊の課題とする途上国にとって有効なコベネフィット・アプローチの推進
日本が技術とノウハウを有する公害対策のアジア協力による雇用創出と市場開拓
多様な主体との連携(フォーラム)とコア組織(プラットフォーム)を通じた途上国支援
人材育成、プロジェクト発掘、技術移転を同時併行(将来的な持続性を重視)

